

母子保健推進事業

1. 乳幼児相談の開催

来所による面接で、専門職による相談（育児相談、ことば相談、すくすく子育て歯科相談、離乳食・幼児食相談等）を実施した。また電話等でも相談を実施した。

<相談者数>

相談名	面接延人員（人）	電話延人員（人）
保健師相談	169	917
歯科相談	141	76
栄養相談	41	136

2. 妊婦、新生児、乳幼児訪問指導の実施

妊婦に対して訪問を行い、妊婦健康診査受診券の使用方法を伝え、妊娠に関する不安や疑問の軽減に努めた。
また新生児・乳幼児を対象に家庭訪問を実施し、保護者の育児不安の解消と、疾病の早期発見に努めた。

<訪問指導の状況>

事業	実人数（人）	延べ人数（人）
妊婦訪問指導	47	48
産婦訪問指導	537	541
新生児訪問指導（未熟児を除く）	27	28
乳児訪問指導（新生児・未熟児を除く）	544	583
幼児訪問指導	112	134
未熟児訪問指導	57	66

3. ママパパ教室の開催

妊婦やその配偶者を対象に、医師・歯科医師・助産師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士が、妊娠、出産、育児及び歯科保健に関する知識を伝達・普及するために実施した。虐待予防のため、ゆさぶられ症候群※防止の啓発も行った。

<教室参加の状況>

ママパパ教室		開催回数（回）	実人数（人）	延べ人数（人）
参加者数		8	101	139
（内訳）	母親参加者数		56	83
	父親参加者数		45	56
	その他（祖父母など）		0	0

〔 ※ ゆさぶられ症候群
…乳児の身体を大きく揺ることにより網膜出血、硬膜下血腫またはクモ膜下出血が引き起こされること。 〕

4. 乳児栄養食品の支給事業の実施

経済的理由により、必要な栄養の強化が困難な乳児に対して、医師の判断等により粉乳の栄養食品の支給を行った。

支給人数 1人

5. 母子健康手帳の交付

妊娠届（661 件）時に母子健康手帳を交付した。家族の妊婦に対する支援や育児参加を促す為、市独自で作成した「すくすく思い出ポケット（父子手帳）」と「ママと赤ちゃんすこやかサポートブック」も併せて配付した。また、妊婦にやさしい環境づくりの推進を目的に「マタニティマークボールチェーンマスコット」を配付した。

平成 23 年度からは、全ての妊婦へのアンケートを実施し、保健センターで交付を受けた妊婦には保健師・管理栄養士・歯科衛生士が面接を行い、支援が必要なケースを早期に把握し、継続した支援を行った。

市民窓口課で交付を受けた妊婦に対しては、訪問や電話を行い妊娠中の生活等への支援を行った。

<母子健康手帳交付の状況>

	保健センター	市役所	合計
母子健康手帳交付数（人）	391	270	661
（内訳　％）	59.2	40.8	100

<保健センターで、母子健康手帳交付を受けた妊婦への面接者数（転入者含む）>

	保健師	管理栄養士	歯科衛生士
相談延人員（人）	429	100	114

6. 離乳食講習会（もぐもぐ教室・かみかみ教室）の開催

乳児の保護者を対象に、管理栄養士が離乳食の作り方を実演しながら、具体的な進め方についての知識を伝達、普及するために実施した。「もぐもぐ教室」は 11 回（生後 5 か月頃から 8 か月頃）「かみかみ教室」は 6 回（生後 9 か月頃から 1 8 か月頃）実施した。

<教室参加の状況>

	受講者数（人）		
	母親	父親	その他
もぐもぐ教室	131	8	13
かみかみ教室	63	1	1

7. ブックスタートの開催

親子のふれあいを目的に、図書館の協力を得て、4 か月児健康診査時に絵本 1 冊を受診者に配付し、図書館司書、読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを行った。（配付数 618 冊）

8. 未熟児保健事業の開催

未熟児で生まれた乳幼児に対して、保護者の育児不安の軽減、成長発達を促すため小児科医師によるクリニックや専門職（理学療法士等）による相談、教室等を行った。また、未熟児クリニック終了後には 2000 g 未満で生まれた未熟児の具体的な支援内容を個別に検討するため、未熟児検討会を実施した。

<未熟児保健事業の状況>

事業名	開催回数	実人数（人）	延べ人数（人）
未熟児クリニック	4	11	11
未熟児検討会	4	29	42
専門職相談	14	15	16
未熟児教室	2	26	38